

まちづくり委員会担当副理事長方針

本多 孝司

次代を担う青年としての自覚を持ち、「世のため人のため」の活動を使命と捉えた先輩諸兄によって、今日の中津川青年会議所が築いてこられました。我々は、脈々としたその熱き想いを引き継ぐと共に、今の時代に生きる J A Y C E E として「公」に向けて能動的に行動していく事が、「明るい豊かな社会」の実現に繋がると考えます。

一昨年、中津川青年会議所では、今後予想される環境の変化を「価値ある変化」にするために、2027年に向けたまちづくりビジョン「交創」を提言しました。リニア開業をただ待ち望むのではなく、現段階より未来を見据えた運動発信を行っていく事が重要であると考えます。

リニア中央新幹線駅は中津川に留まるだけでなく、岐阜の東の玄関口としての機能を果たさなければいけません。我々は青年会議所メンバーとして、市内各地域はもとより県内外への波及効果も考える広い視野を持つと共に、その必要性を多くの市民へ伝播していく必要があると考えます。また、一人でも多くの人との交流を通じてまちの可能性を追求し、胸がどるようなまちの姿を創造する中で、未来に向けて行動できる人づくりを行っていく事が「新たなまちの価値」の創出に繋がると考えます。

青年会議所活動では、「修練・奉仕・友情」を体感する様々な機会がありますが、本気とあって取り組まなければ自己の成長に繋がりません。試練に果敢に挑戦する中で、誰に対しても利他の心を忘れず、苦楽を共にする仲間との信頼関係を築いて参りましょう。私は、副理事長としての自覚を持って真摯に活動に取り組む中で、メンバーに成長の機会を提供して参ります。

<まちづくり委員会>

多くの人との交流を通じてまちの可能性を追求する中で、広い視野を持ち未来に向けて行動できるきっかけとなる事業を展開していただきたい。